

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について（第3四半期）

H 2 5 . 2 . 8

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

全38プランについて、実行支援チームを編成、事業推進にあたっての支援と進捗管理を実施し、地域アクションプランに掲げた目標の達成に向け取り組んでいる。

全体としては、計画どおりの進捗を見ており、事業計画が固まったものは、順次、支援事業を導入し具体の事業実施に取り組んでいる。

特に観光に関しては、昨年度NHKでの仁淀川を舞台にしたドラマや特集番組の放送、国土交通省の水質調査で仁淀川が全国1位になった追い風もあり、主要観光施設への入込客数が前年比で増加しているほか、カヌーやラフティングの参加者数、ツアー造成の実績数なども順調に増加している。

この追い風を生かし、ツアー造成で取り上げてもらえる地域内の観光資源の掘り起こしを図るとともに、県の観光振興施策とも連携して県内外の一般客へのPRを行い、継続的な仁淀川地域への誘客につなげる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>地域の特色を活かした多様な農業の展開</p> <p>■No.3 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>・ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[取組状況]</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐が中心となった薬用作物の栽培拡大への取組</p> <p>ミササイコ作付面積 H21 (38.9ha) → H23 (48ha) シンヨウ作付面積 H21 (25.6ha) → H23 (62ha)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・栽培者の拡大については、ヒューマンライフ土佐の関係者による口コミ等によるところが大きく、その範囲が限られる。</p> <p>⇒薬用作物振興に向け体制整備、支援内容の協議を進める</p> <p>*関係機関チーム会（高吾農業改良普及所、越知町、ヒューマンライフ土佐、株式会社ツムラ）開催（8/22）</p> <p>*薬用作物検討会（農業振興部）（9/7、11/28）</p> <p>*農業振興部と株式会社ツムラとの打合（1/22）</p> <p>*成長戦略に位置付け、県域でミササイコ技術向上のため実証圃を設置する方向へ。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 4 力強い高糖度トマト産地の確立(仁淀川町、佐川町、日高村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A コスモス ・ J A コスモストマト生産部会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 促成トマト各作業班の実践 ・ 栽培管理指導による栽培技術向上やトマトの目慣らし会、時期別出荷計画の検討 ・ 産地コンセプト検討会の開催、市場との販促交渉活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質、安定的な生産体制の確立と差別化による販売戦略の展開が重要である。 <p style="margin-left: 40px;">⇒*産地コンセプトを活用した販促宣伝、市場予約販売数の確保</p> <p style="margin-left: 40px;">*栽培暦を活用した栽培管理技術の平準化</p>
<p>「森の工場」などによる木材の増産体制の確立</p> <p>■No. 13 仁淀川流域における木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林組合 ・ 林業事業体 ・ 素材生産業者 ・ 製材業者等 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業説明会を開催し、新たな補助制度の周知を徹底 ・ 増産に取り組む森の工場事業体等の把握(事業体数 12) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後増産体制づくりを的確に進める必要がある。 <p style="margin-left: 40px;">⇒森の工場事業体の増産能力や体制づくりの具体的な進捗状況を把握するなど、事業体等と情報共有を図りながら取組を進める。</p>
<p>「宇佐のうるめ」の消費拡大</p> <p>■No. 15 うるめのブランド化(土佐市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業組合宇佐もん工房 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H24 年度の売上目標 40,000 千円に対し 4 月～12 月の売上が 26,153 千円(前年比 151%) ・ 土佐市内の飲食店が参加し、うるめを活用したメニューを提供する「一本釣りうるめ祭り」を開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度売上目標 40,000 千円の達成に向けて販路拡大が課題 <p style="margin-left: 40px;">⇒見本市の出展等による販路拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先から、個人向け商品の品ぞろえを増やせないかとの要望が多い。 <p style="margin-left: 40px;">⇒商工会連合会のアドバイザー事業を活用し、新たな加工品の開発を検討中。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>「土佐和紙」の販売の促進</p> <p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町商工会 ・i-nos.net 他 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙すき体験で、紙の博物館と土佐和紙工芸村で分担して受け入れを実施(城西館から要請があった企業研修ツアー182名を6月4日に受入) ・いの町で土佐和紙の魅力向上スタッフを新規雇用 ・首都圏での見本市「インターナショナルギフトショー」や「TOSAZAI展」に参加し、土佐和紙製品のPRを行った。 ・ねんりんピック賞状に土佐和紙を利用する方向で調整中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙の伝統や工芸品としての魅力をPRする支援にとどまっているため、製紙業全般についての支援が不十分である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒見本市への参加や企業訪問を通じて業界の現状を知り、支援策の検討を行う。 ・和紙の加工品は、商品アイテムも増え好評の商品もあるが、より多くの利益をあげるための工夫が必要 <ul style="list-style-type: none"> ⇒首都圏の高級文具店に売り込む等販促活動を進める。 ・手すき和紙職人の高齢化が進んでおり、後継者育成が課題 <ul style="list-style-type: none"> ⇒職人からの聞き取り調査をもとに、市町や手すき和紙協同組合等と協議し、後継者育成の仕組みづくりを検討する。

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>仁淀川流域の広域観光の推進</p> <p>■No. 25「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域観光協議会 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川地域観光協議会の旅行会社への売り込みによるツアー造成は、昨年度に比べて大きく実績数を伸ばしている。 ・屋形船の運航（日高村）や、河原でのバーベキューサービス（いの町）など新たな体験メニューも開始された。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツアーの造成が進むことによって、現地でのアテンドや営業に向けた仁淀川地域観光協議会の人役が徐々に不足してきている。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒関係市町村等と連携を図りながらサポートに努める。 ・県版ふるさと雇用事業を活用しているが、3年後の財源確保が課題 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市町村の財政負担について今後協議を行う。 ・ツアーの造成は順調に推移しているが、長期的に安定した誘客を行うためには、常に旅行会社やお客様に注目してもらえる楽しみ方の提案が欠かせない。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒研修会等を通じて市町村や観光施設の担当者の意識の醸成を図る。

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐文旦の加工（土佐市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA とさし ・土佐文旦加工組合 ・菊水酒造（株） ・ひまわり乳業（株） 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23 年度に県産振補助金（ステップアップ事業）を活用して開発した文旦飲料が H24 年 1 月～3 月に ANA 国内線機内販売に採用され、文旦の知名度が高まった。 ・菊水酒造(株)では文旦果汁の取扱量を増やすため、新たな商品を開発した。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文旦飲料については、清涼飲料としては高価格帯の商品であり、今後はターゲットを絞った販促活動が必要 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県外の見本市等に積極的に出展し、高級量販店等との取引を目指す。 ・文旦果汁の取扱量を増やすためには、県外の事業者への売り込みも必要 <ul style="list-style-type: none"> ⇒今後は商談会や見本市等にも積極的に参加する等、県外の事業者との商談も積極的に進める。

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 8 生姜の加工（生姜出荷施設整備事業） （土佐市）</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産振補助金により新たな加工工場が整備され、生産体制が強化された。 ・加工品販売拡大のため、新たな商品（生姜漬物、生姜の菓子）を開発中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量拡大に向けて、原材料である生姜の確保が課題 ⇒生産農家と作付面積等について協議を行う。 ・加工品売上の増のため新たな販路拡大が課題 ⇒通販を活用するとともに、全国各地の商談会に積極的に参加するとともに、新たな加工品の開発を進める。
<p>■No. 11 本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発（いの町）</p> <p>・本川きじ生産組合 ・庭先農家 ・いの町</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月から県産振アドバイザー制度を活用し、新商品を開発するとともに、高級量販店との商談を継続中 ・ゆうパック（秋冬ギフト）で、「土佐本川きじ きじ鍋セット」が販売開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では売上が冬季に集中しているため、年間を通して販売できる商品開発が課題 ⇒高級量販店をターゲットとした新商品を開発中 ・安定した生産体制の構築が必要 ⇒孵卵率・飼育状況の把握と改善のため、県中央家畜保健衛生所と連携して指導を行う。また、経営の安定に向けた生産組合の法人化や、出荷羽数の増に向けた鶏舎増築等の設備投資の検討を行う。 ・他産地のきじ肉と比較して単価が高いため、コスト削減が課題 ⇒県産振アドバイザーの指導のもとで原価計算を行い、可能な限りコストを削減する。
<p>■No. 17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興（土佐市）</p> <p>・土佐市商店街活性化推進協議会</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡商店街活性化のための集客施設の整備について、H23年度に基本計画をとりまとめ、県産振補助金を申請 ⇒7月23日審査会、9月19日交付決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客のための仕掛け作りや、安定した施設運営のノウハウ獲得が課題 ⇒12月から県産振アドバイザー制度を活用して、専門家からの助言を受けており、今後も積極的にアドバイザー制度を活用する。

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>・(有)高知アイス</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大を目指し、海外(シンガポール、香港、アメリカ)での商談会等に積極的に参加 ・水道施設の改良、直営売店の拡張、海外向けPRツール作成等のため県産振補助金を申請 ⇒10月17日審査会、1月4日交付決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで冬期は閉店していた直営売店は、拡張によって通年営業する予定のため、冬期商品の開発が課題 ⇒今後はスイーツ等の新商品開発を目指す
<p>■No. 20(株)フードプランを中心とした農山村6次産業化の推進 (仁淀川町)</p> <p>・(株)フードプラン</p> <p>・仁淀川町</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量販店の産直市への野菜集荷を開始(4月～) ・施設規模拡大に向けた支援策の情報を収集(～10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現施設でのカット野菜の生産能力が限界に達しており、生産規模の拡大を検討中であるが、投資規模が大きくなることが予想され、財源手当てが課題となる。 ⇒現在、工場を拡張する土地の選定と合わせて、財源となる支援事業及び事業計画の検討について仁淀川町、商工会連合会等と協議中
<p>■No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 (佐川町)</p> <p>・佐川町</p> <p>・JAコスモス</p> <p>・佐川町商工会</p> <p>・企画本舗さかわ屋</p> <p>・地元酒造会社</p> <p>・地元乳業者</p> <p>・地元加工業者</p> <p>・黒岩じるし</p> <p>・地元酪農家 など</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量販店での販促活動(牛乳、地乳プリン、地乳パン等)を実施(県外2店舗、高知市内3店舗) (「地乳」に対する県外消費者の反応は良好) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳の安定供給が課題 ⇒販売促進の成果を確認しながら効率的な操業を徹底する。

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)(日高村)</p> <p>・(有)エスエス</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質系処理剤の新商品の試作品完成(4月) ・つなぎ剤高騰のため、7月～10月にかけてメーカーから生産調整の要請があり売上が半減 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の売上確保やコストダウンへの取り組みが重要 ⇒新しいつなぎ剤の目途が立ち、1月からフル稼働に向けて順次増産の予定
<p>■No. 36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p> <p>・日高村</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所「さんさん市」の施設整備計画の策定について、県産振補助金(ステップアップ)を申請(6/27 地域本部審査、7/25 交付決定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所の効果的な整備計画を策定する必要がある。 ⇒ステップアップ事業により事業計画を策定中 施設整備については、平成25年2月の審査会を予定
<p>■No. 37 屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化(日高村)</p> <p>・日高村</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)屋形船仁淀川が屋形船の運航を開始(5/6～) 利用者数 1,627名(12月末日現在) ・屋形船の発着場周辺の整備計画策定について観光拠点等整備事業費補助金を申請(7/25 交付決定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレや販売施設等、屋形船発着場の周辺整備が必要 ⇒来年度に施設整備を計画

2 平成 24 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興（土佐市）</p> <p>※審査会 7/23 交付決定 9/19</p>	<p>土佐市が購入した量販店跡地に、集客施設を整備することで、雇用の拡大、地域の新たな特産品の開発、空き店舗の解消、商店主や農家の所得増、土佐市の情報発信、交流人口の拡大を目指す</p>	108,990 (50,000)
<p>■No.36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化（日高村）</p> <p>※ステップアップ事業 交付決定 7/25</p>	<p>直販市「さんさん市」を日高村活性化の拠点施設として整備するため、整備方針や運営方法を練り上げ実施計画を策定する。あわせて、その計画を詳細設計に反映させる。</p>	3,972 (1,000)
<p>■No.19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>※審査会 10/17 交付決定 1/4</p>	<p>仁淀川地域等の県内産の素材(柚子、トマト他)を使ったアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の冷菓・飲料商品について、生産体制を強化するとともに今後の海外市場開拓を目指す。また直営売店の拡張によって、更なる県外客の開拓を目指す。</p>	7,586 (3,529)

3 県民参画に向けた取組

- ・日高村行政連絡協議会で第2期計画の説明（4/22）
- ・越知町区長連合協議会春季総会で第2期計画の説明（4/27）
- ・土佐市商工会総会、日高村商工会総会で第2期計画の説明（5/23）
- ・いの町商工会総会で第2期計画の説明(5/25)
- ・越知町商工会総会で第2期計画の説明(5/29)
- ・商品開発を検討する企業への「土佐まるごとビジネスアカデミー」の紹介（1件）
- ・「土佐の産業おこし参加プラン」の市町村広報誌への掲載に向けた調整（流域全6市町村）

4 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/13	新エネルギー	公共施設を活用した太陽光発電事業
2	4/16	加工製品	新商品開発に向けたウコンの栽培
3	4/19	紙製品	一次産品を活用した紙製品の開発
4	5/17	食品加工	ねぎを活用した加工製品の開発
5	5/22、8/27、9/5、12/6	食品加工	一次産品の産地と連携したドレッシング製造事業の展開
6	6/14、8/7、10/4、12/14	食品加工	土佐市内への生姜の加工場建設